



Yamano Holdings

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月14日

株式会社ヤマノホールディングス
(東証スタンダード 7571)

目次

- I. 2025年3月期 1Q決算ハイライト
- II. 2025年3月期 1Q決算概要
- III. 中期経営計画および取組み状況
- IV. 通期業績予想
- V. 参考資料

目次

I. 2025年3月期 1Q決算ハイライト

II. 2025年3月期 1Q決算概要

III. 中期経営計画および取組み状況

IV. 通期業績予想

V. 参考資料

1Q実績は減収減益となったが、期初計画通りに進捗

- コロナ後の回復が遅れていた主力の和装宝飾は、加工作業等の影響で減収となったものの、受注状況は回復基調
- 中期計画の重点取組みの一つである、既存事業の収益安定化に向け、前期苦戦した美容・リユース等も改善傾向
- 事業拡大を続ける教育は、引き続き、順調に推移
前期にM&Aした(株)灯学舎も期初より売上に寄与



最終利益黒字 V字回復に向け、計画を推進

目次

I. 2025年3月期 1Q決算ハイライト

II. 2025年3月期 1Q決算概要

III. 中期経営計画および取組み状況

IV. 通期業績予想

V. 参考資料

■ 中期計画の「事業承継型M&A」の推進に際し、 本業の収益力を表す「EBITDA」指標を採用

重要経営指標の一つとして、四半期毎に開示
EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

詳細なデューデリジェンスを行い、適切な価値算定の実施により、
将来の超過収益を見込んだグループ成長を図っていく方針



投資家様には、より企業の実態に即した指標の開示
により、中期経営計画達成に向けての進捗をご評価
いただけるものと考えています。

2025年3月期1Q 連結業績



Yamano Holdings

- 売上高 教育が伸長するも、和装宝飾の減収で売上減少
- 営利/EBITDA 和装宝飾の影響で減益、前期苦戦の3事業は改善傾向

(単位:百万円)

	2024/1Q 実績	2025/1Q 実績	増減	増減比
売上高	3,203	3,143	△59	△1.9%
売上総利益	1,593	1,533	△59	△3.8%
(売上総利益率)	(49.8%)	(48.8%)	(△1.0p)	-
販管費	1,750	1,738	△12	△0.7%
(販管费率)	(54.7%)	(55.3%)	(+0.6p)	-
EBITDA	△129	△176	△47	-
(EBITDAマージン)	(△4.0%)	(△5.6%)	(△1.6p)	-
営業利益	△157	△204	△47	-
(営業利益率)	(△4.9%)	(△6.5%)	(△1.6p)	-
経常利益	△158	△209	△50	-
当期純利益	△124	△171	△46	-

※EBITDA 営業利益と減価償却費 (のれんに係る償却費含む)の合計額

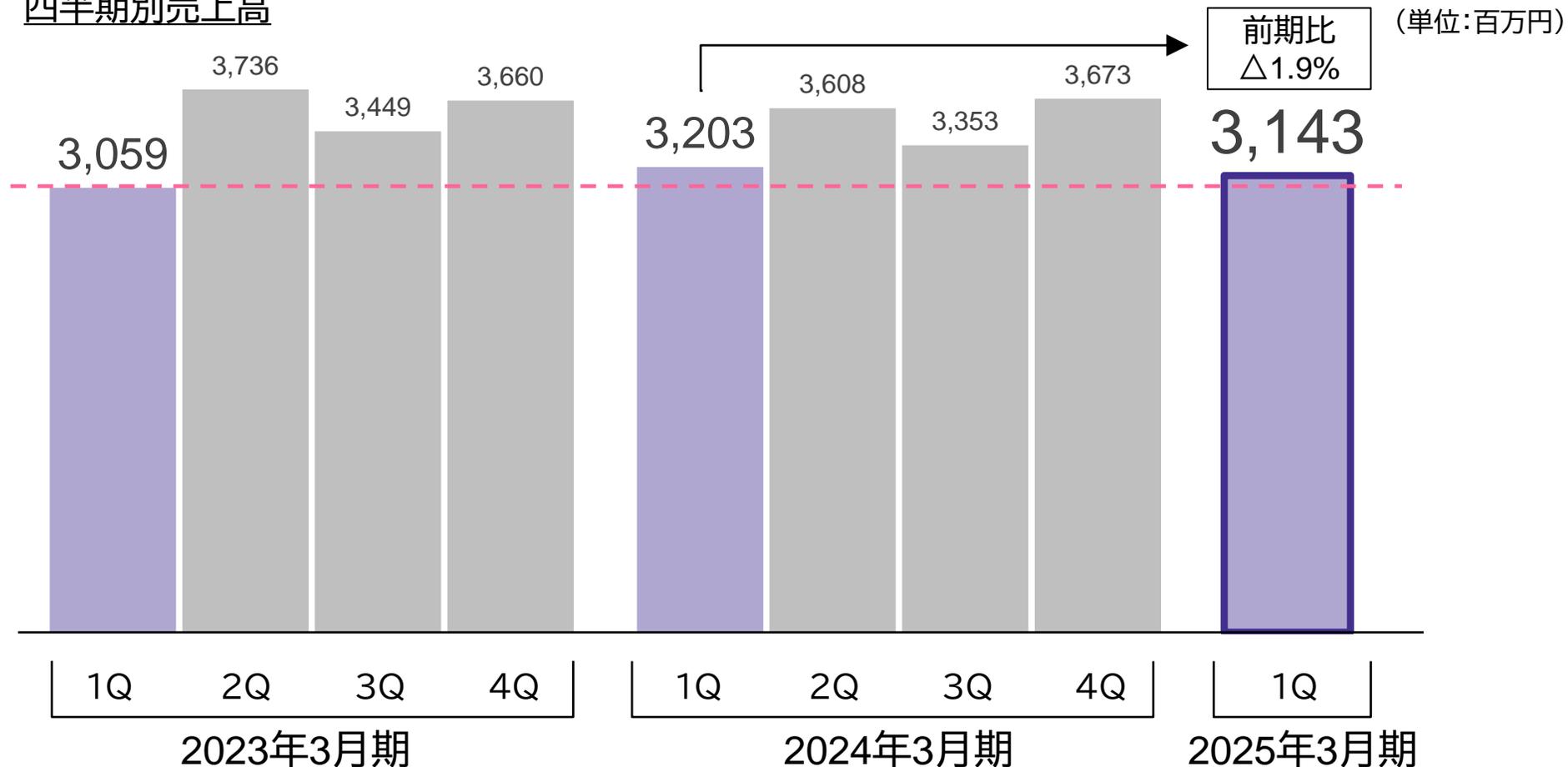
四半期別 連結売上高 推移



Yamano Holdings

- 例年、和装宝飾は2Q以降に大型催事を多数計画、美容や教育等も季節要因から、1Qは年間を通じて売上高が最も低くなる
- 当1Qは和装宝飾の影響があったものの、概ね計画通り推移

四半期別売上高



四半期別 連結営業利益／EBITDA推移

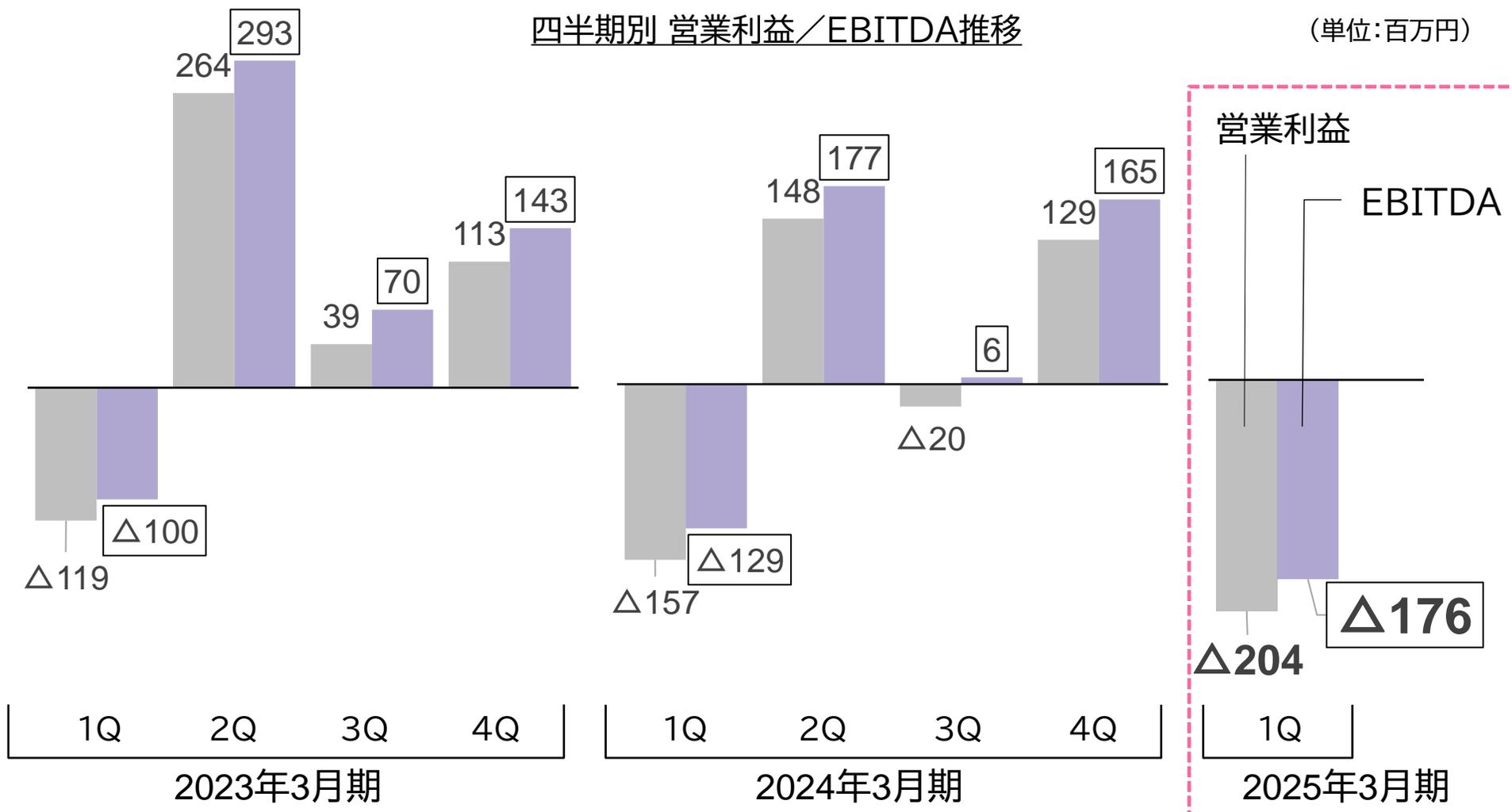


Yamano Holdings

■ 1Qは売上高が最も低くなることに伴い、営業利益／EBITDAも最低になる

四半期別 営業利益／EBITDA推移

(単位:百万円)



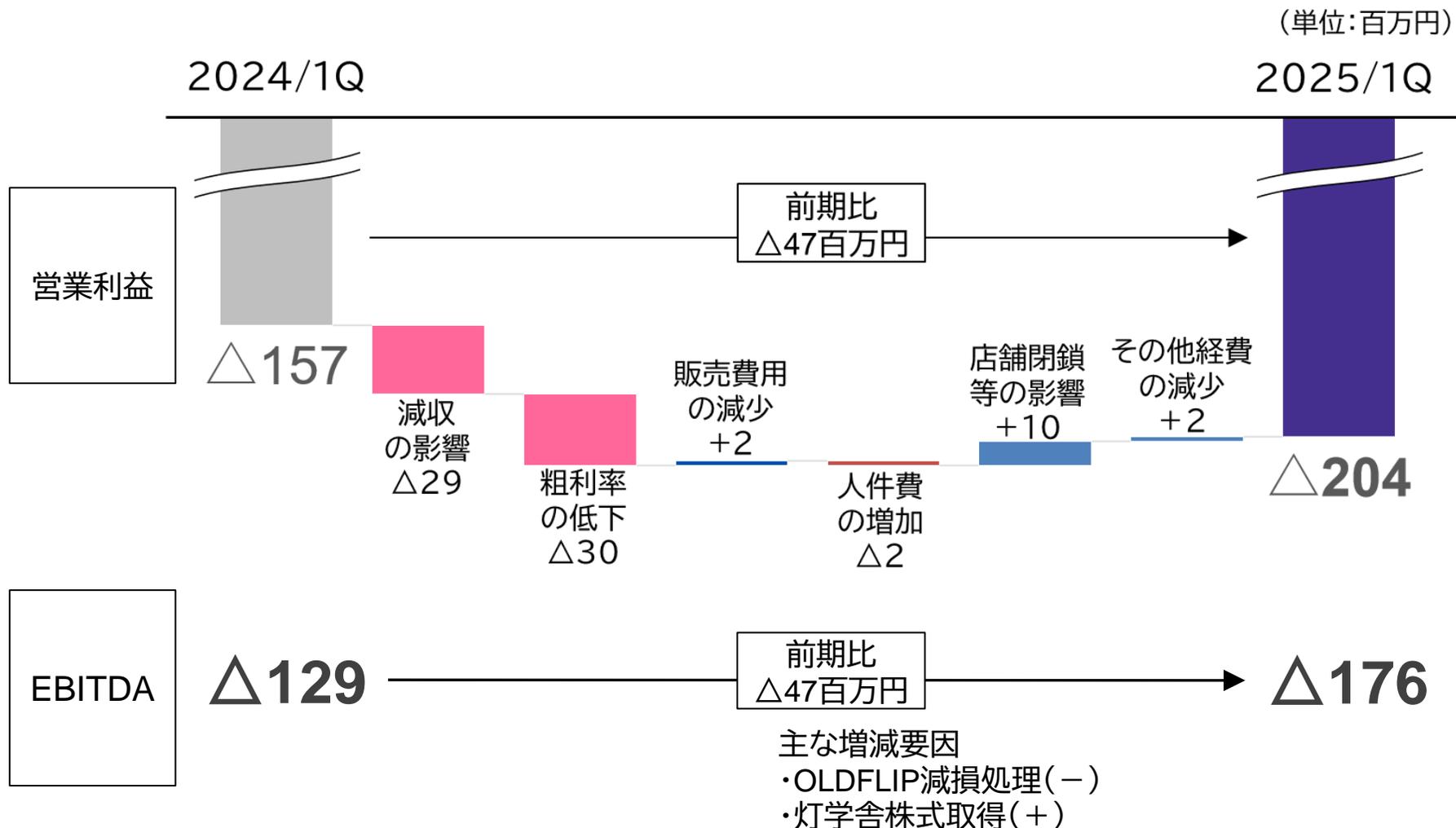
※EBITDAを中期計画の進捗度を図る重要判断指数として公表

連結業績 要素別 営業利益／EBITDA 増減要因



Yamano Holdings

- 減収の影響に加え、和装宝飾事業の構成比低下で粗利率は低下
- 不採算店舗閉鎖による固定費の削減等により、構造改革が進展



セグメント別業績一覧(売上高/営業利益)



Yamano Holdings

(単位:百万円)

	売上高				営業利益			
	2024/1Q	2025/1Q	前年比		2024/1Q	2025/1Q	前年比	
			増減額	増減比			増減額	増減比
美容	484 ※1 (15.1%)	481 (15.3%)	△3 (△0.2p)	△0.7%	△1 (-)	10 (2.1%)	+12	-
和装宝飾	2,222 (69.4%)	2,092 (66.6%)	△129 (△2.8p)	△5.8%	△96 (-)	△163 (-)	△66	-
DSM	208 (6.5%)	187 (6.0%)	△20 (△0.5p)	△9.7%	△18 (-)	△18 (-)	△0	-
教育	206 (6.5%)	305 (9.7%)	+98 (+3.2p)	+47.8%	△14 (-)	△10 (-)	+3	-
その他	81 (2.5%)	76 (2.4%)	△5 (△0.1p)	△6.5%	△20 (-)	△7 (-)	+12	-
調整額	-	-	-	-	△6	△14	△8	-
合計	3,203	3,143	△59	△1.9%	△157	△204	△47	-

※1 売上高欄の()は、対全社売上構成比を表す

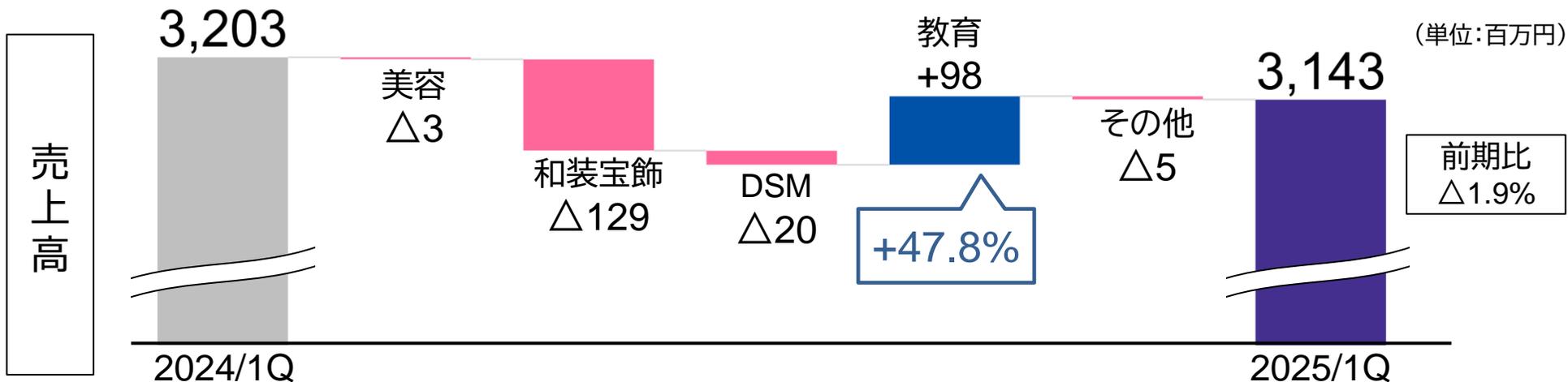
※2 営業利益欄の()は、各セグメントの利益率を表す

セグメント別 売上高／営業利益 増減要因



Yamano Holdings

- 売上高 教育は引き続き順調、M&A3社目の(株)灯学舎も売上寄与
- 営業利益 美容は黒字転換、DSM・その他(リユース)も収益性改善



売上高推移

△0.7%

(単位:百万円)

484

481

2024/1Q

2025/1Q

店舗数推移

△4

80

76

2024/1Q

2025/1Q

営業利益推移

(単位:百万円)

収益
改善

+12百万

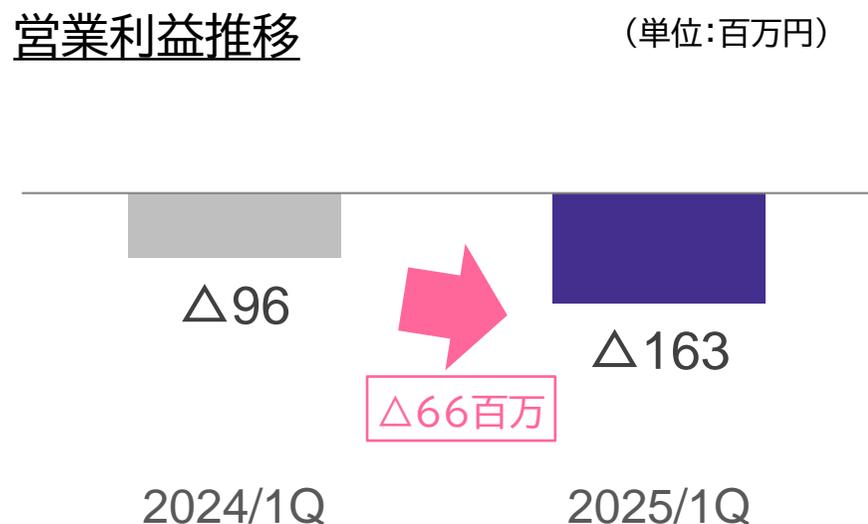
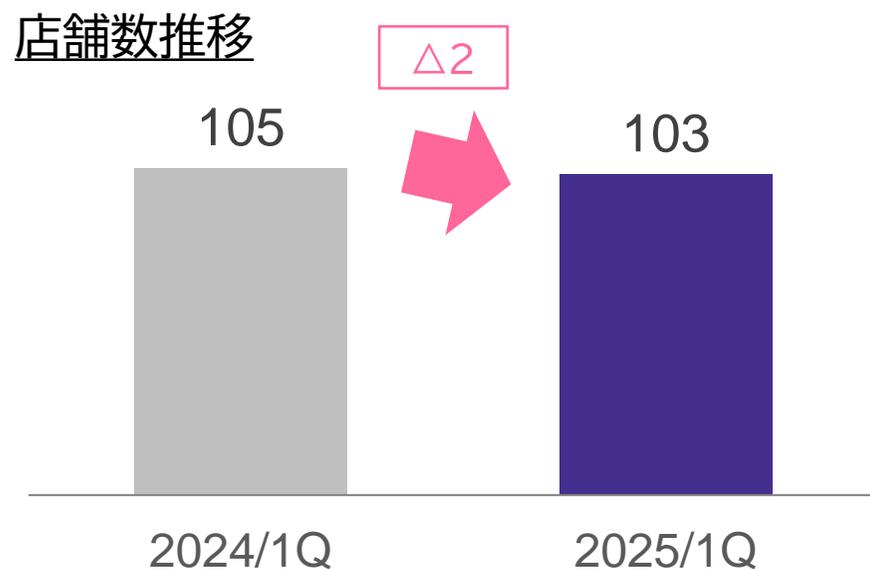
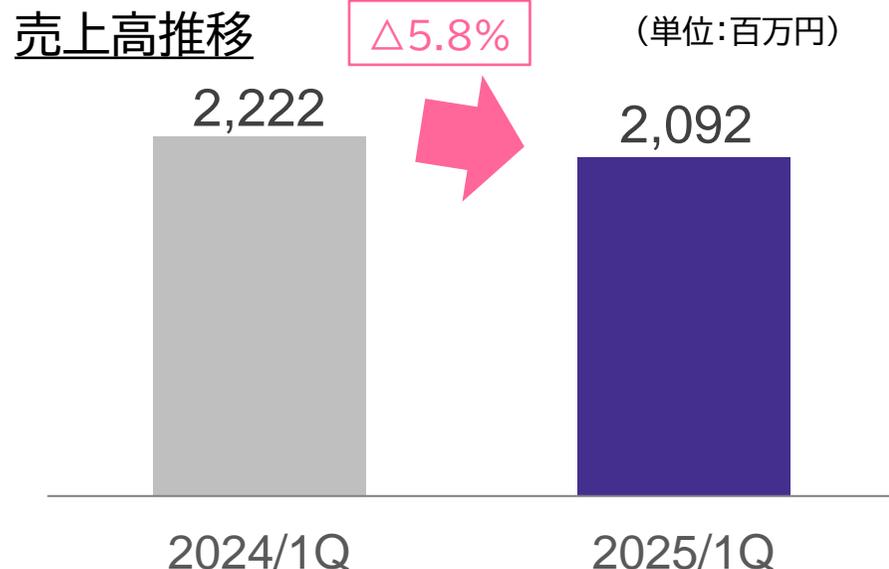
10

△1

2024/1Q

2025/1Q

- 不採算店舗閉鎖で4店舗減少するも、新規客数増、再来店客数も改善傾向となり、**売上高はほぼ前年を維持**
- 店舗閉鎖による固定費削減に加え、育成強化でスタイリストが増加し、店舗稼働率も上昇、**黒字回復**

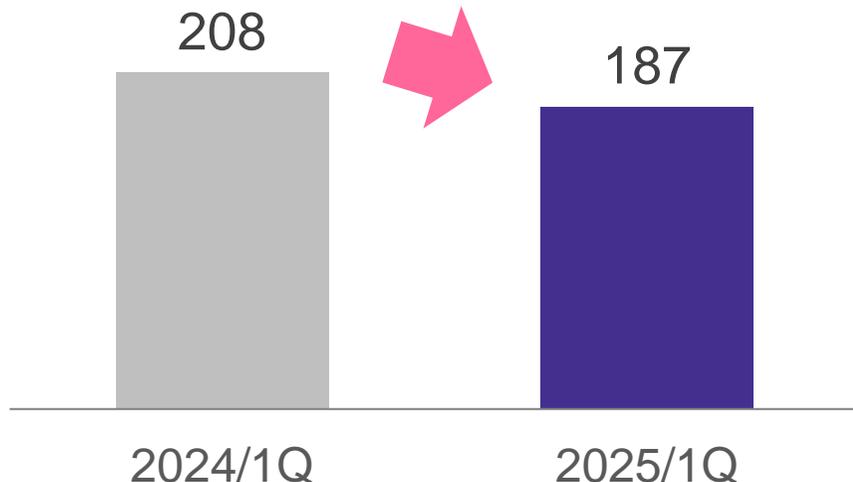


- 商品加工等の遅れにより売上高減少。一方で着物メンテナンス・展示販売会の集客強化等に注力し、受注は増加
- 運営固定費は抑制できたものの、売上減に伴う粗利額減少で利益減

売上高推移

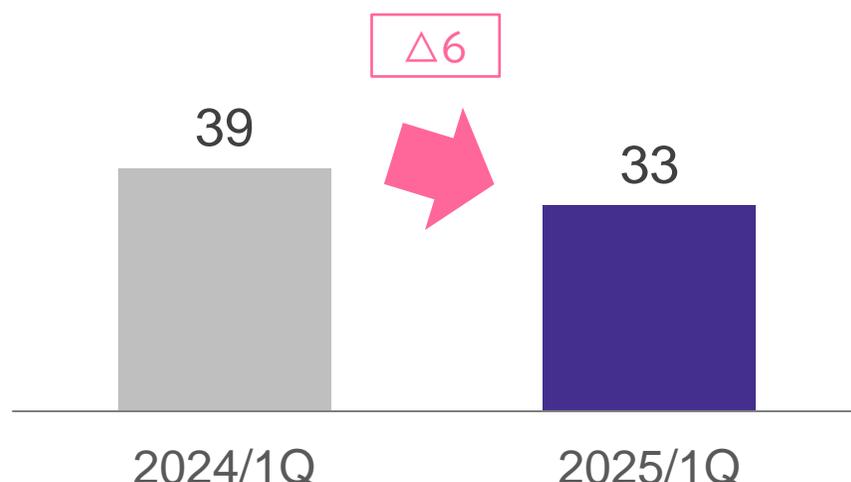
△9.7%

(単位:百万円)



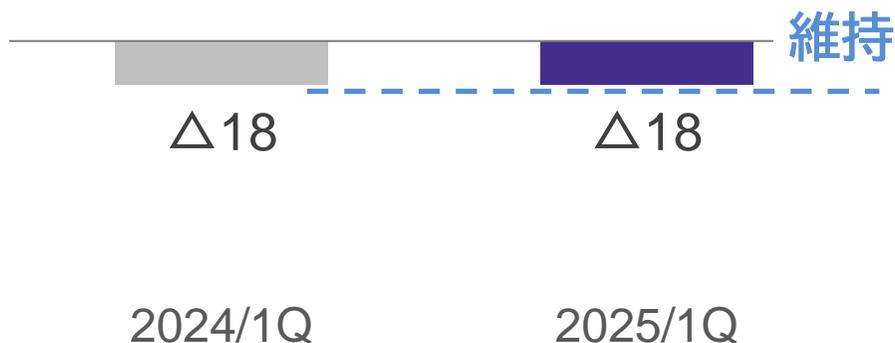
拠点数推移

△6



営業利益推移

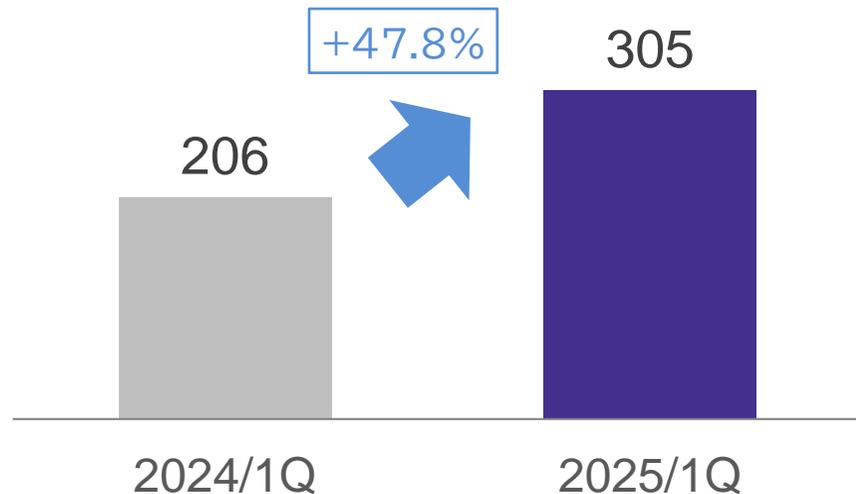
(単位:百万円)



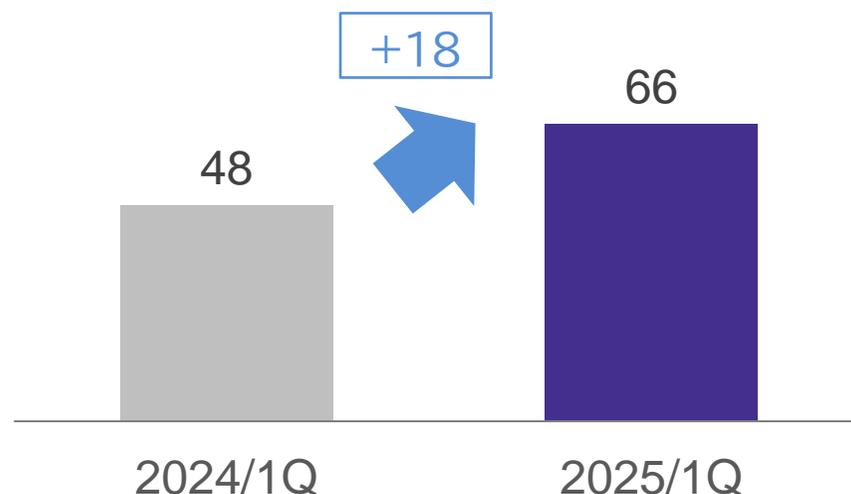
- 拠点統廃合の実施や販売員稼働数の低下等の影響で減収
- 拠点統廃合等による固定費の削減、コスト管理の強化等を進めた結果、損益は前年水準を維持(収益性改善)

売上高推移

(単位:百万円)



教室数推移



営業利益推移

(単位:百万円)

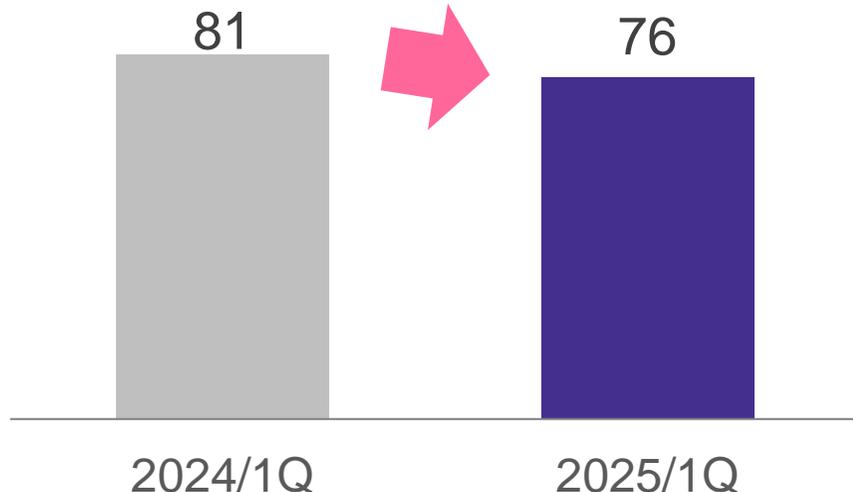


- 既存2社が引き続き順調に推移。前期新たにグループ入りした、(株)灯学舎が期初より売上に寄与
- 既存2社の増収に加え、安定したコスト管理等が継続され収益改善

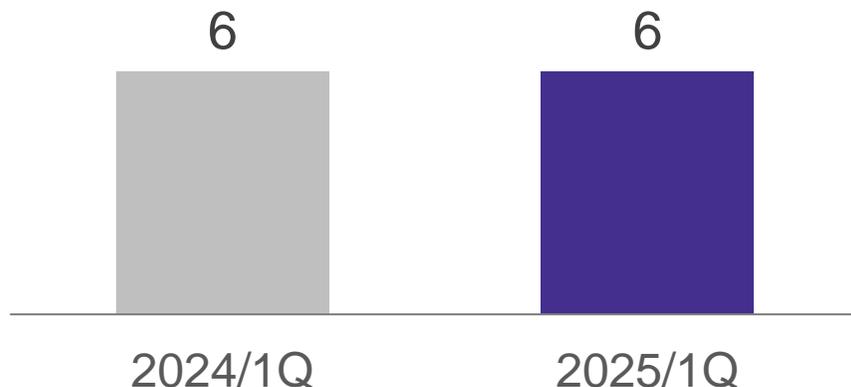
売上高推移

△6.5%

(単位:百万円)

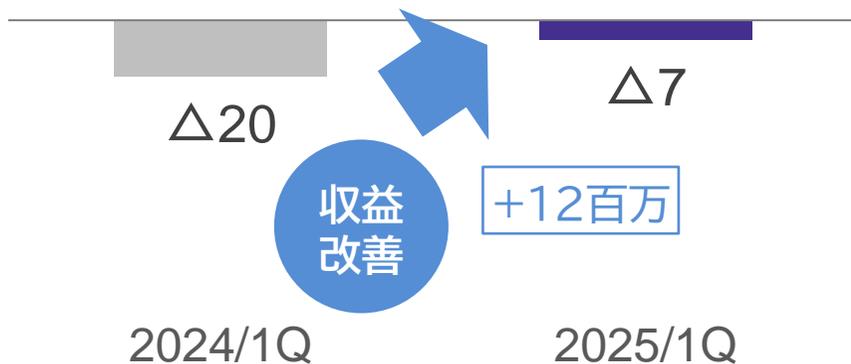


店舗数推移



営業利益推移

(単位:百万円)



- (株)OLDFLIPにおいて、店舗販売は売上が伸びる。一方で、EC販売は商品供給が追いつかず、売上減少
- (株)OLDFLIPのコスト構造を見直し、販管費の大幅削減に繋がり収益改善

連結貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2024/3末	構成比	2024/6末	構成比	増減
資産合計	8,647	100.0%	8,620	100.0%	△26
流動資産	6,865	79.4	6,790	78.8	△74
固定資産	1,781	20.6	1,830	21.2	+48
有形固定資産	317	3.7	316	3.7	△1
無形固定資産	363	4.2	369	4.3	+5
投資その他	1,100	12.7	1,144	13.3	+43
負債・純資産合計	8,647	100.0%	8,620	100.0%	△26
負債合計	7,423	85.9	7,562	87.7	+138
流動負債	5,560	64.3	5,761	66.8	+201
固定負債	7,423	21.5	7,562	20.9	△63
純資産合計	1,223	14.1	1,058	12.3	△165
株主資本	1,278	14.8	1,107	12.8	△171

主な変動要因

流動資産

- 借入金返済等による現預金の減少(△146)
- 売掛金の減少(△143)、商品の増加(+209)

固定資産

- 繰延税金資産の増加(+43)

流動負債

- 和装宝飾の受注増加等による前受金の増加(+195)

固定負債

- 長期借入金の返済等による有利子負債の減少(△82)

純資産

- 当四半期純利益(△171)

目次

- I. 2025年3月期 1Q 決算ハイライト
- II. 2025年3月期 1Q 決算概要
- III. 中期経営計画および取組み状況**
- IV. 通期業績予想
- V. 参考資料

- 当期より、3年間を経営基盤の更なる充実を図る期間としてスタート
- 2030年ビジョン「従業員が投資したくなる会社へ」の実現に向け、3つの重点課題をグループ全体で取り組んでいく

<重点取り組み>

(1) 人的資本をより活かす経営

- ▶ 多様な人財の活躍と有機的な結びつきによる生産性の向上

(2) 既存事業の収益安定化

- ▶ 全ての事業で店舗運営における課題解決による生産性の向上

(3) 資本コストや株価を意識した経営

- ▶ 収益性の改善、資本効率化、IR活動強化による株価水準の向上

2027年3月期 利益計画

連結売上高 **175～185億円**

EBITDA **7～8億円**



1Qは、当初計画の「最終利益の黒字化・V字回復」に向けた施策が当初計画通りで進捗

- 営業体制の最適化
- 不振事業の構造改革
- 伸長事業の盤石化

【1Qの取り組み】

- 不採算店舗の整理
- 拠点統廃合の実施
- 店舗業態転換の推進
- 新規顧客獲得の施策強化
- コスト構造の見直し
- 店長・室長の育成強化 等

2Q以降の全社の利益回復に向け、運営体制の強化が図られ、前期苦戦していた3事業の収益性が改善

■ 美容事業

➤ 店舗業態転換の推進

顧客ニーズや人口動態、エリア環境の変化に対し、多様なサロン形態を有する強みを活かし、2店舗目を実施

- ・ファミリーサロン
- ・エイジングケアサロン
- ・ナチュラルオーガニックサロン
- ・ネイルサロン



2024年5月
ナチュラルオーガニックサロンに転換(川越店)

➤ 直営店舗のFC化推進 ※2024年8月 1店舗実施 計5店舗

- ・独立志向の強い従業員に対し、FC化を提案。
- ・蓄積してきた運営ノウハウで、店舗管理面をサポートすることで、業務に集中でき、高いモチベーション維持し、売上拡大に繋げる

■ 和装宝飾事業

➤ コロナ禍で減少した新規顧客獲得に向け、店頭企画を強化

「ヤマノブランド」を活かした差別化戦略を推進し、来店動機の向上を図り、来店客増加に繋げていく

「創始者山野愛子」の美容室開業99周年を記念した企画として、店頭企画を強化



※好評の着物メンテナンス企画の実施例

山野愛子美粧院 -SINCE1925-
創業99周年記念



■事業承継型M&A戦略で事業ポートフォリオの最適化を目指す

既存事業

美容

和宝

DSM

教育

その他

既存事業をロールアップ

新中核ビジネスを創出

ライフスタイル領域

Kimono / Fashion・Beauty・Wellness・Study・Reuse

- 増加する案件に対し慎重に精査を実施 利益貢献が可能な企業を選定中
- 20年間 約50社のM&Aで得たノウハウを活かし、成功確率を高めていく

目次

- I. 2025年3月期 1Q 決算ハイライト
- II. 2025年3月期 1Q 決算概要
- III. 中期経営計画および取組み状況
- IV. 通期業績予想**
- V. 参考資料

- 2024年5月15日に公表した通期業績予想から変更はございません。
※通期計画に対しては、各事業とも概ね計画通りで推移

(単位:百万円)

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減額	増減比(%)
売上高	13,837	14,000	+163	+1.2
EBITDA※	220	370	+150	+68.1
(EBITDAマージン)	(1.6%)	(2.6%)	(+1.0P)	-
営業利益	100	260	+160	+157.8
経常利益	102	230	+128	+125.2
当期純利益	△28	120	+148	-
EPS(円)	△0.83円	3.44円	+4.27	-
1株配当(円)	-	1.0円		

※EBITDA 営業利益と減価償却費(のれんに係る償却費含む)の合計額

目次

- I. 2025年3月期 第1四半期決算概要
- II. 中期経営計画および取組み状況
- III. M&A戦略の概要
- IV. 通期業績予想
- V. **参考資料**

会社名	株式会社ヤマノホールディングス	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美容室、ネイルサロンの運営 ・和装品、宝飾品、毛皮、洋装品、寝装品、健康関連商品の販売 ・学習塾の運営 ・古着の買取/販売。 										
設立	1987年2月2日	本社所在地	東京都渋谷区代々木1-30-7 ヤマノ24ビル										
資本金	10,000,000円	主要株主	<table border="0"> <tr> <td>株式会社ヤマノネットワーク</td> <td>13.7%</td> </tr> <tr> <td>山野義友</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>山野愛子どろんこ美容株式会社</td> <td>9.7%</td> </tr> <tr> <td>山野功子</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>株式会社ヤマノ</td> <td>4.2%</td> </tr> </table>	株式会社ヤマノネットワーク	13.7%	山野義友	10.9%	山野愛子どろんこ美容株式会社	9.7%	山野功子	6.0%	株式会社ヤマノ	4.2%
株式会社ヤマノネットワーク	13.7%												
山野義友	10.9%												
山野愛子どろんこ美容株式会社	9.7%												
山野功子	6.0%												
株式会社ヤマノ	4.2%												
株式上場	1997年11月 日本証券業協会 (現 東京証券取引所JPXスタンダード) 証券コード：7571	発行済株式数	35,830,058株(自己株式を含む) (2024年3月末日現在)										
業種	小売業	株主数	5,437名 (2024年3月末日現在)										
決算月	3月	主要グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ヤマノプラス 株式会社すずのき 株式会社マンツーマン 東京ガイダンス株式会社 株式会社灯学舎 株式会社OLD FLIP 株式会社ヤマノセイビング 										
代表者名	代表取締役社長CEO 山野 義友	従業員数	単体224名、連結575名 (2024年3月31日現在、女性比率 約70%)										

美道五原則

(髪、顔、装い、精神美、健康美)

企業理念

こころが明るく美しくなければ、外観の美しさは作られない。

心身の健康が外観の美を形作り、外観が美しくなることによって、また、心身ともに穏やかな状態が作られていく。

創業者山野愛子が生涯をかけて提唱し続けた美道五原則とは、

「髪」「顔」「装い」「精神美」「健康美」という五つの要素が内面と外見の両方で調和し合い、相互に影響し合って、真の人間の本当の美しさが生まれると定義した人類学における理念です。

Mission(私たちの使命)

豊かさと彩りあるライフスタイルを創造し続けます

Vision(2030年に向けてのビジョン)

従業員が投資したくなる会社へ

Value(私たちの価値観と行動規範)

我らに奉仕の心あり

私たちは、謙虚に学ぶ姿勢を忘れずに、感謝する心を大切にします。

我らに団結の力あり

私たちは、自己成長に励み、互いに個性を尊重し、信頼し合い、結束する力を持ちます。

我らに実践の斗志あり

私たちは、最善の成果が得られるよう、誇りと情熱をもって、やり抜く強い意志を持ちます。

我らに必勝の信念あり

私たちは、いかなる状況においても、自分の能力・努力を信じ、必ず成功すると確信します。

我らに目標達成の行動あり

私たちは、コンプライアンスを遵守し、「行動なくして成果なし」の精神で、迅速かつ柔軟に考動します。

■美容事業

「美容室・ネイルサロンの運営」

運営:株式会社ヤマノプラス ※2022年10月に当社の美容部門と子会社2社の統合により設立

●美容室(72店舗)

- ・首都圏、関西圏を中心に全国に美容室を展開
- ・地域に密着した人に優しい『エイジングサロン』
- ・お子様・両親と一緒に家族でご利用頂ける『ファミリーサロン』
- ・天然素材を使ったオーガニックヘッドスパ(山野式ヘッドスパ)
- ・和装部門と連携した安心の着付けサービス

●ネイルサロン(4店舗)

- ・23年間の営業実績、ネイルサロン業界の先駆けとしてブランドを構築
- ・「手足手入れの専門店」という高い品質で都内好立地に展開

ブランド名

My jStyle
by yamano

PLAZA
HAIR
by yamano

**La Bonheur**

NAIL CARE SALON
miura

セグメント別の事業概要

■DSM事業

「家電、洋装品、宝飾品、健康関連商品等の催事販売及び訪問販売」

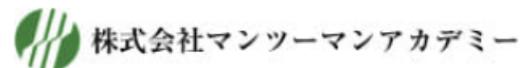
運営：当社の訪問販売・催事販売部門

- 展示販売会や訪問販売によるダイレクトセールスを全国33拠点で展開
- 全国の販売員は、日々お客様のもとを訪ね、新商品や話題商品等を紹介
- 取扱商品は洋装品、宝飾品、健康商材、マシン、各種家電など幅広いラインナップ
- アパレル、毛皮やレザーコート、バック、ウィッグなど多様な商品を取り揃えた「トータルファッションフェア」やジュエリーフェア等のテーマ絞った催事を随時開催

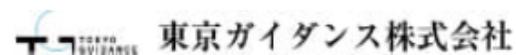
■教育事業

「学習塾の運営」

運営部門：株式会社マンツーマンアカデミー
※2020年3月 当社グループ入り



東京ガイダンス株式会社
※2022年5月 当社グループ入り



株式会社灯学舎
※2023年12月 当社グループ入り



- やる気スイッチグループ「スクールIE」のFC加盟店事業を主力事業とするメガフランチャイジー個別指導教室を首都圏を中心に66教室で展開

■ その他の事業

「リユース事業、前払式特定取引業、着物着付に関する普及、検定等」

運営：株式会社OLD FLIP(古着の買い取りおよび販売事業)

※2020年3月 当社グループ入り

株式会社ヤマノセイビング(前払い式特定取引業)

社団法人日本技術技能教育協会(着物着付け教室の運営)

● リユース事業

- 気軽に立ち寄れる古着店舗を関東中心に6店舗展開
- ファッション雑貨が店頭を彩る新しいスタイルのUSED&セレクトショップ
- 店舗やグループ会社の店頭等で古着回収BOXを設置
- 回収品は「京都紋付」職人による黒染めやリメイク等でアップサイクルを実現
- 店舗販売のほか、ネット販売、卸販売を展開

ブランド名

ゴー!ゴー!古着

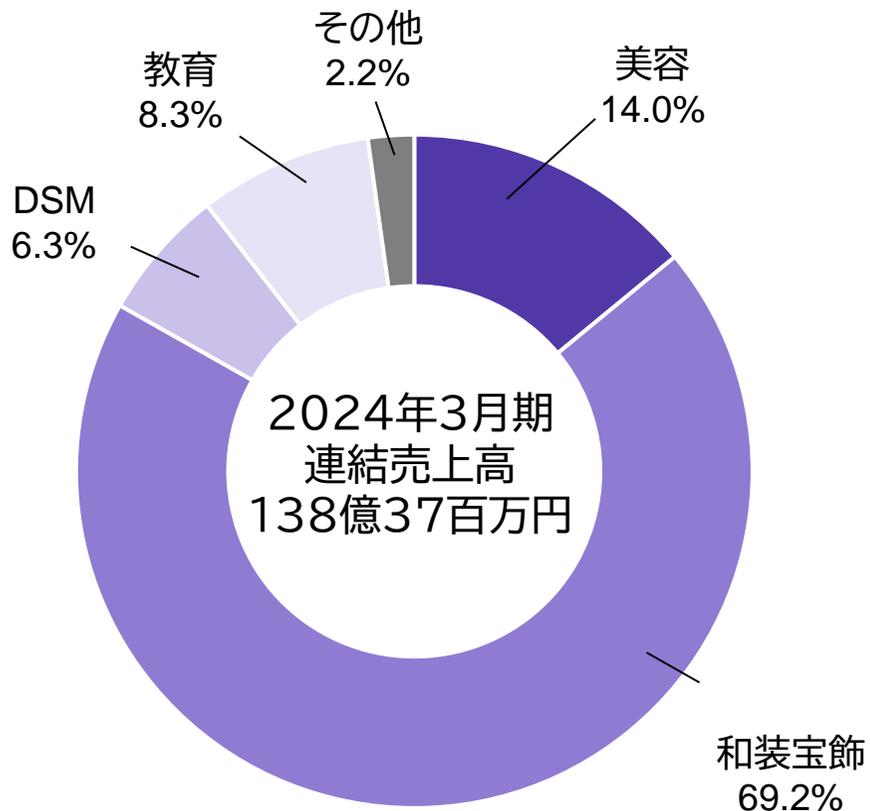
recollect
リコレクト

zivun

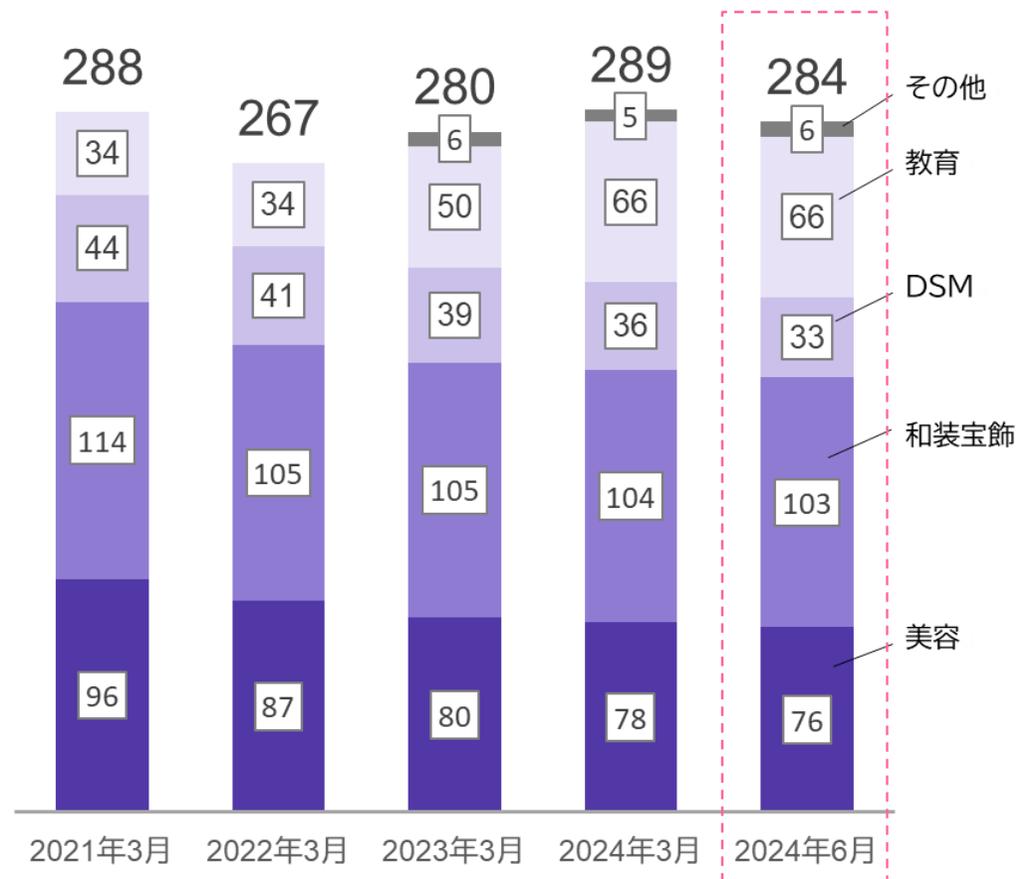


セグメント別売上構成比・店舗推移

連結売上高構成比率



セグメント別店舗・教室数推移



当社コーポレートサイトのご案内

■ 2024年7月30日にコーポレートサイトを全面リニューアルいたしました。

<リニューアルのポイント>

- 経営理念、事業内容等の企業情報の充実
- 多様な人財を迎えるための採用情報の充実
- サステナビリティへの取り組みの共有
- ビジュアルの強化
- ユーザービリティの向上



※トップページ(「豊かさと彩り」)をテーマにしたWebデザインを採用)

当社ホームページ
はこちら ⇒



※創始者 山野愛子キャラクターが求職者に向けて当社を紹介するページ

免責事項

本資料は、当社の業績概要、ならびに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り開示時点の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ
経営企画部
Tel: 03-6743-9377
Mail: ir@yhc-net.com